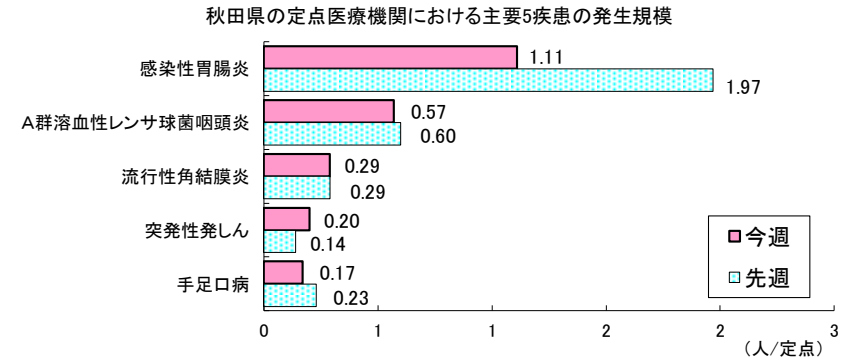




【第14週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で44%減少しています。保健所別では、横手で増加、秋田市、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で5%減少しています。保健所別では、秋田市、北秋田、大仙で増加、由利本荘で同規模、大館、能代、秋田中央、横手、湯沢で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で同規模です。保健所別では、全ての保健所で同規模となっています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ	0.56	0.15	↓	1.27	0.18	↓	1.86	0.71	↓							0.33	0.17	↓				0.14		↓						
咽頭結膜熱	0.06	0.11	↑	0.14	0.14														0.25	0.75	↑									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.57	↓	0.29	0.43	↑	0.50	0.25	↓	0.50	1.50	↑	0.67	0.33	↓	2.50	2.00	↓	0.25	0.25			0.50	↑	0.33		↓	0.50	0.25	↓
感染性胃腸炎	1.97	1.11	↓	1.57	1.43	↓	2.75		↓	1.00		↓	3.33	1.33	↓	4.75	3.25	↓	0.25		↓	1.25	0.75	↓	0.33	1.00	↑	2.25	1.50	↓
水痘																														
手足口病	0.23	0.17	↓	0.71	0.57	↓										0.25		↓								0.67	↑	0.50		↓
伝染性紅斑	0.11	0.03	↓	0.29		↓													0.50	0.25	↓									
突発性発しん	0.14	0.20	↑	0.29	0.29					0.50		↓				0.25	0.25			0.50	↑		0.25	↑	0.33		↑	0.25		↓
ヘルパンギーナ	0.03	0.06	↑		0.14	↑													0.25		↓				0.33		↑			
流行性耳下腺炎	0.06		↓																0.50		↓									
川崎病	0.03		↓																0.25		↓									
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*											*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.13														*	*		1.00		↓					1.00	↑			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)		0.13	↑													*	*								1.00		↑			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↑」は増加を、「↓」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が横手保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が湯沢保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から2人、大館保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から3人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-13週			14週
		全国	秋田	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱				
	クリミア・コンゴ出血熱				
	痘そう				
	南米出血熱				
	ペスト				
	マールブルグ病				
	ラッサ熱				
二類	急性灰白髄炎				
	結核	4147	24	1	
	ジフテリア				
	重症急性呼吸器症候群				
	中東呼吸器症候群				
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)				
	鳥インフルエンザ(H7N9)				
	コレラ				
四類	細菌性赤痢	36			
	腸管出血性大腸菌感染症	245	6	2	
	腸チフス	10			
	パラチフス	6			
	E型肝炎	150	1		
	ウエストナイル熱				
	A型肝炎	43			
	エキノコックス症	5			
	黄熱				
	オウム病	3			
	オムスク出血熱				
	回帰熱				
	キャサナル森林病				
	Q熱				
	狂犬病				
	コクシジオイデス症	1			
	サル痘				
ジカウイルス感染症					
重症熱性血小板減少症候群	6				
腎症候性出血熱					
西部ウマ脳炎					
ダニ媒介脳炎					
炭疽					

類型	疾患名	1週-13週			14週
		全国	秋田	秋田	秋田
四類	チクングニア熱				3
	つつが虫病				56
	デング熱				35
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱	7			
	日本脳炎	1			
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症	1			
	ペネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ポツリヌス症				
	マラリア	8			
野兔病					
ライム病	1				
リッサウイルス感染症					
リフトバレー熱					
類鼻疽					
レジオネラ症	348			4	
レプトスピラ症	1				
ロッキー山紅斑熱					
五類	アメーバ赤痢	147			
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	61			
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	367			1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	6			
	急性脳炎	228			4
	クリプトスポリジウム症	1			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	33			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	237			1
	後天性免疫不全症候群	231			
	ジアルジア症	9			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	116			
	侵襲性髄膜炎菌感染症	10			
	侵襲性肺炎球菌感染症	702			4
	水痘(入院例に限る)	102			3
	先天性風しん症候群	1			
	梅毒	1297	13		1
	播種性クリプトコックス症	29			1
	破傷風	21			
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	34			
百日咳	1975	7		1	
風しん	73				
麻しん	11				
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2				
指定	新型コロナウイルス感染症	2456	4	7	

トピック

<ロタウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう>

例年、冬の後半から春にかけてロタウイルスによる感染性胃腸炎が増加します(図)。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、他のウイルス性胃腸炎と比べて症状が重くなる傾向にあるため、注意が必要です。

■症状

患者は、およそ2歳までの乳幼児が大部分を占めますが、免疫力の低下した高齢者が感染することもあり、社会福祉施設等から集団感染事例が報告されることもあります。

典型的な症状では、白っぽい水のような下痢や激しい嘔吐が見られ、まれに脳症を合併することもあります。胃腸炎症状に続いて意識の低下、けいれんなどの症状が見られたら、速やかに医療機関を受診しましょう。

■予防対策

ロタウイルスによる感染性胃腸炎の重症化予防にはワクチンが有効です。現在、任意接種で受けることができますので、お子さんへの予防接種を検討される方は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関にご相談ください。

※2020年10月から定期接種の対象となります。

日常生活においては次のことを心がけ、衛生管理をしっかり行いましょう。

- ・手洗いを励行する。
- ・嘔吐物等は、速やかに塩素系漂白剤で消毒しながら後始末をする。
- ・乳児のオムツ交換は手袋を付けて行うようにし、使用済みオムツはビニール袋に密閉して捨てるようする。
- ・手すりやドアノブなど、ヒトの手が触れる場所はときどき塩素系漂白剤で消毒する。

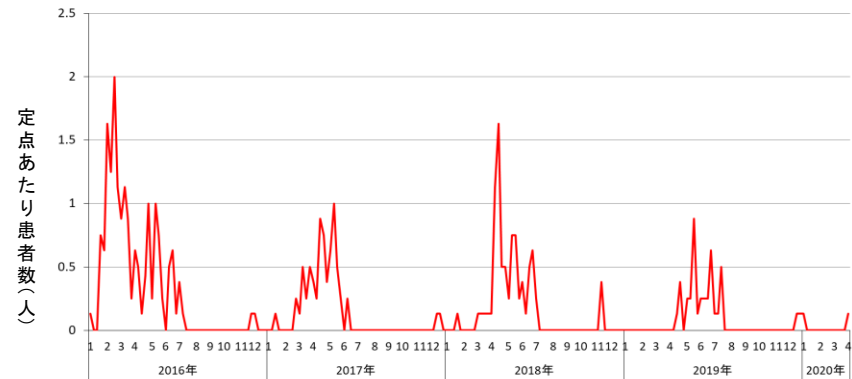


図 ロタウイルスによる感染性胃腸炎の定点あたり患者数の推移(秋田県)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～)

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

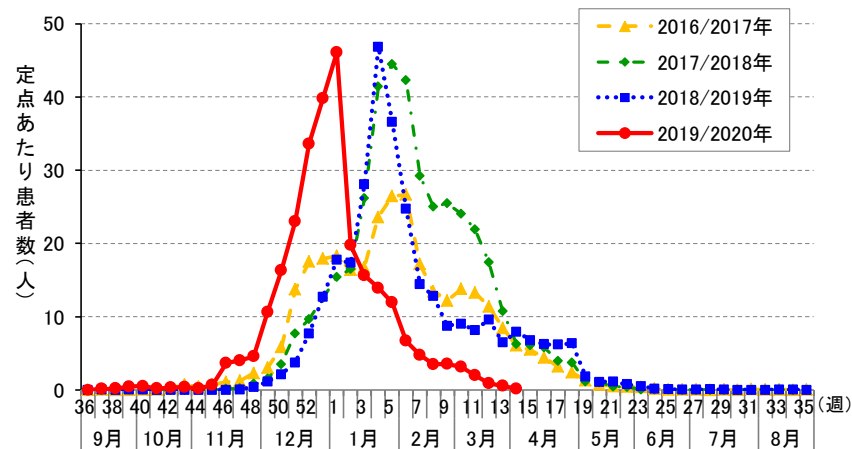


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

※県全体として、定点あたりインフルエンザの患者数は流行の目安となる1以下となっています。しかし、新年度となり、入進学や就職等で新たな集団生活が始まると、再び感染のリスクが増大しますので、手洗いや咳エチケットなど、日常的な感染予防を継続して行いましょう。

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
3/23～3/29 (13週)	3/30～4/5 (14週)	累計	3/16～3/22 (12週)	3/23～3/29 (13週)	累計
1	0	320	25	23	12,971

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

感染性胃腸炎情報

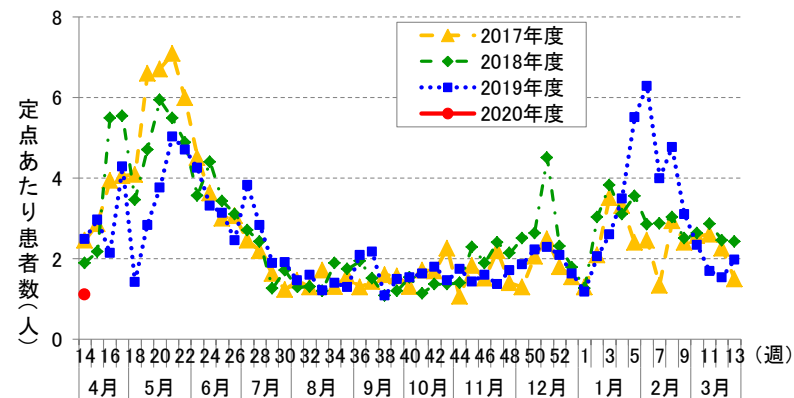


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

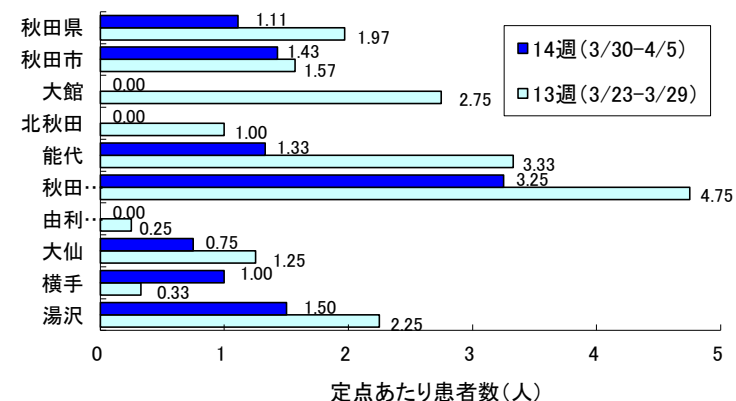


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		